

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



# かふう

新報 リビングニュース

毎週金曜日発行

2015.9.18

Vol.520

<http://www.kahu.jp>

かふう 検索

軍用地買取ります

売主様とのお約束!

当社買取で、仲介料はナシ!!

年間100件以上の取引

実績で即断即決!!

優良

売り物件

あります

カミヤプロ 検索

沖縄県知事(1)4087号 沖縄県浦添市城間4-5-6 1F

カミヤプロデュース

tel.098-870-7777



目次

こんな家に住みたい  
名護市 Iさん宅

## 母の思いを紡ぐコンパクトな平屋

- 5 ギャラリーに行こう  
PEARL.(パール)  
8 どうする住宅資金  
マイホームの維持管理 マンション編  
11 ドキュメント家づくり  
RC住宅をリノベーションして  
オールドアメリカンスタイルの  
ショップへ②

- 12 おうちで育てる百年古酒Q&A  
甕の管理方法  
13 うちなあ点描  
沖縄～アジア・トイレ紀行  
大橋家住宅のトイレ 平川宗隆  
14 ペット  
SEAGARDEN  
ただ今、鳥生活満喫中!

- 15 ガーデン  
あこがれのお庭を訪ねて  
23 かふうひろば  
お便りコーナー  
琉信ハウジング  
24 暮らしを楽しむテーブルコーディネート  
敬老の日編  
26 かふう週報

撮影・屋比久光史 「かふう」とは、「沖縄語辞典」によれば「果報。幸運(にめぐり合うこと)」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。

琉球新報

発行／琉球新報社

〒900-8525 沖縄県那覇市天久905

☎098-865-5014

企画・編集・制作／(株)正広コーポレーション

〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-11-9

☎098-941-8112

サンキュー コウドク

購読のお申し込み 0120-39-5069

こんな家に住みたい 第489回 名護市一さん宅

# 母の思いを紡ぐコンパクトな平屋

奥さまの退職を機に、母親と一緒に暮らすことにした。介護に最適な機能・動線を整えた、平屋の住まいを新築。陶芸家であるご主人の作品を飾るギャラリーとしても、目

陶芸家であるご主人の作品を飾るギャラリーとしても、見応えがある住宅です

設計コンペの提示案から、好みのプランを選ぶ

打ち放しのコンクリートが艶やかな光沢を放つIさん宅は、95歳を超える母親のために建てた家です。陶芸家であるご主人の工房を一つ建て替えて、2LDKの平屋を建築、母親が昨年亡くなるまでの3年間、ご夫妻と一緒に3人で生活していました。

「生前は友だちやデイサービスの職員さんをいつも招

き入れ、家の自慢話を繰り返していました。それほど新居の暮らしに満足していましたよ」と奥さま。現在は同じ敷地内にある長里宅と行き来しながら、夫婦2人で暮らしています。

この家ができるまでのプロセスには、2つの段階がありました。最初のステップは6年前。奥さまの退職を機に、新たに家を建てて

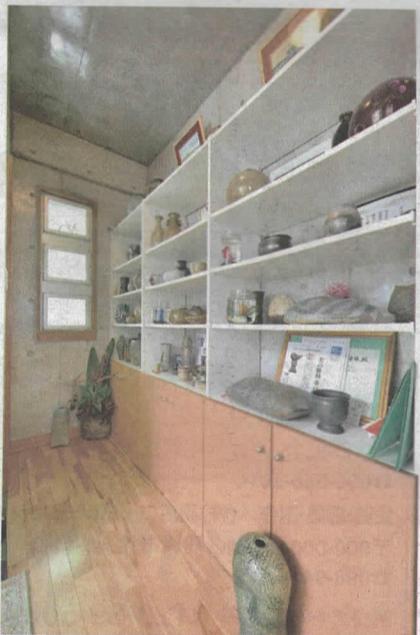
母親と同居することにしました。そのときに利用したのが「沖縄作家人（や一つくや）ネット」のシステムです。12社の設計事務所が設計コンペを開催し、6つ以上のプランから気に入った案を自由に選べるという仕組みに興味を抱きました。

Iさんが希望し、選択したのは、現在の住居よりふた回り以上大きな2階建てのプランでした。しかし間もなく母親が体調を崩し、計画は一度白紙に戻りました。それから約1年後、沖縄作家人ネットの事務局から見舞いを兼ねた連絡が届きそれが第2ステップへ進む引き金になりました。その頃には母親も元気を取り戻

しており、Iさんは改めて家づくりの意思を確認。そして今度は、介護での使いやすさを第一に考え、規模をギュッとコンパクトにして平屋のプランを作成してもらいました。



リビングからキッチンを眺める。LDの天井高は約4メートル。写真左手は玄関ホール。琉球ガラスをはめ込んだ引き戸はオリジナルです。フローリングはカバザクラを施工しました



右／介護室とバスルームが併設。介護室は暑さ対策として、天井を張り断熱材を施工しています  
左／玄関ホールはご主人のギャラリーに。南側の壁面には、介護室やバスルームまで風が抜けるように、換気用の小窓を設けました



右／外観。スロープ、玄関ポーチに手すりを設置。玄関両脇のコーナーも展示棚になっています

左上／介護室。コンクリート打ち放しの仕上げでも衣類を掛けられるように、壁面に付鴨居を取り付けました

左下／アイランド式のオープンキッチンで、遊びに来た長女と歓談。造り付けの食器棚やキャビネット、つり戸棚をビビッドなカラーで統一し、空間全体を明るい雰囲気に



所在 地：名護市  
家族構成：夫婦  
設 計：株式会社西筋総合設計  
敷地面積：142.81m<sup>2</sup>（約43.20坪）  
建築面積：65.65m<sup>2</sup>（約19.90坪）  
延床面積：64.80m<sup>2</sup>（約19.60坪）  
構 造：鉄筋コンクリート壁式構造  
平屋建て  
用途地域：第一種低層住居専用地域  
完成時期：2012年3月

まずは駐車場から、なだらかなスロープを通つて玄関へ。玄関の土間と室内の床面は、レベル差がないバルコニー設計です。家に上がり玄関ホールの戸を開けると、かつて母親がたくさんの人とおしゃべりを楽しんだ、明るいリビングが現れます。その正面に介護室、つまり母親の個室があり、シャワー室とトイレが併設されています。

一方で Iさんご夫妻にとっては日常生活空間でもあります。

例えればリビングとダイニングの天井は、他の居室より一段高く設定されています。これはもともと2階建てのプランのときから、「開放感を出すために吹き抜けは絶対にほしかった」というIさんの強い要望を、建築士がくみ取ってくれたものです。さらに天井付近には開閉式のハイサイドライトを設け、介護室や主寝室にも光と風が行き渡るよう配慮されています。

ヤラリーとしての性格も備えています。玄関ホールに専用の展示スペースを設けるとともに、門扉には美術館のようにガラスケースを設置。道行く人が鑑賞できるようになっています。

「介護用に建てた家ですが、すべての要素がコンパクトにまとまつていて、夫婦二人住まいには最適の広さです」と奥さま。介護室は母親の生前のまま、きれいに整頓されており、「生きてるいれば100歳を迎える誕生日まで、使わずに空けておくつもりです」と話して

屋根に勾配を付けて、室内の開放感を演出

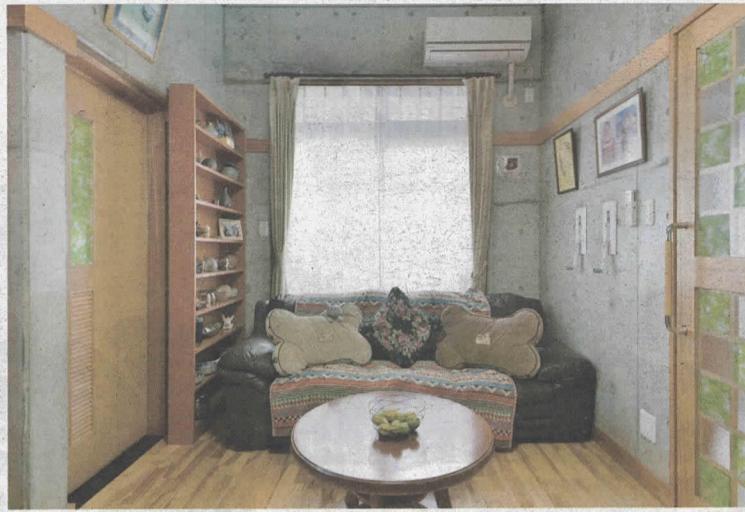
新居の間取りは、介護用の生活動線を最優先に組み立てられています。

り、住み心地を高めるための工夫やこだわりも随所にちりばめられています。

ヤラリーとしての性格も  
えていきます。玄関ホールに  
専用の展示スペースを設け



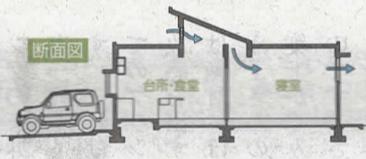
右／リビング。東面には大きく腰高窓を配置。右手の戸は玄関ホール。左手は洗面室に連結しています。左／旧宅と新居の間はコンクリート敷きにして駐車スペースに。一部に植生ブロックを用いて緑を演出



## ハイサイドライトを利用して自然通風・自然採光を促進



自然な空気の循環を促す開口計画は、住み心地を左右する大切な要素です。Iさん宅は敷地条件上、夏の季節風が舞い込む南面に大きく開口部を取りなかつたため、リビングダイニングの天井付近にハイサイドライトを設置しました。高窓から取り込んだ風を家の奥へと導くように、通り道も確保しています。



### ■沖縄家作人(や一つくやー)ネット

同ネットに家づくりを依頼すると、①12社の設計事務所に建築プランを頼める ②見積り提出後に施工業者を選定できる。完成後の10年保証付き ③県内銀行との連携により、住宅ローン基準金利より1.2%金利優遇の適用が可能、といったメリットがあります

本部／那覇市前島2-8-13 ☎098-869-3313  
http://www.829net.jp/

### ■株式会社西筋(いりすじ)総合設計

那覇市小禄1-15-20 ☎098-859-2051



西筋総合設計代表の西筋光則さん(左)と今回設計を担当した親川和史さん

HINT 家づくりのヒント

新居は床面に段差のない、完全バリアフリー住宅です。また移動の負担を軽減するために、介護の中心となる洋室には、シャワー室とトイレが一体となったバスルームを併設しました。バスルームからは直接屋外へ出ることも、洗面室を通ってリビングに抜けることもで

めの介護地図で、車通りが多い広い道路に面し、同じ敷地内には、今までIさん一家が暮らしていた築40年以上の住居がありました。当初はすべて建て替えて、4世代が同居する2階建ての家にする計画でしたが、母親の介護を最優先した平屋のプランに変更になりました。

旧宅は取り壊さず、長男家族が住み継げるよう背面改修しました。

やちむんの展示スペースを随所に設置。  
高窓や建具には琉球ガラスをアクセントに——一級建築士・西筋光則さん、親川和史さん談

計画地は車通りが多い広めの道路に面し、同じ敷地内には、今までIさん一家が暮らしていた築40年以上の住居がありました。当初はすべて建て替えて、4世代が同居する2階建ての家にする計画でしたが、母親の介護を最優先した平屋のプランに変更になりました。

き、母親も介護者もスムーズに動ける動線を確保しました。

さらに介護スペース周りの扉はすべて、片開きドアと比べて有効開口幅が広く、容易に開閉できる引き戸を採用。玄関ホール、シャワールームなどの壁面には、安全手すりを取り付けました。プランニング面の工夫としては、リビングダイニングの天井に傾斜をつけて、開放感を演出しました。採

光・通風用のハイサイドライトに琉球ガラスを用いたことで、壁面に映し出されるカラフルな光の変化も楽しめます。琉球ガラスはこのほか、各建具のガラス部にも取り入れており、意匠面の貴重なアクセントになっています。

陶芸家であるご主人の作品を展示する場所は、玄関ホールと前面道路沿いの専用スペースのほか、造り付けの棚や壁面のニッチを随所に設け、どこでも手軽に飾れるようにしました。ま

## こんな家に住みたい 第489回 名護市 Iさん宅 母の思いを紡ぐコンパクトな平屋



右／玄関。土間と床の段差がないバリアフリー構造です  
左／洗面室からバスルームを見る。トイレの先のドアを開ければ屋外につながります

たご主人は、コンクリートの仕上がりにも強いこだわりがあり、打設時は一緒に作業に参加しました。表面にガラス質のような光沢が見えるのは、密実で堅牢なコンクリートを打てた証です。

# 介護にやさしく、誰もが使いやすいバリアフリー住宅